

株式会社ファミリーマート御中

国名：ベトナム社会主義共和国

事業名：ホーチミン市カンザオ区における防災・
気候変動対応能力強化事業

四半期報告書



2015年8月

公益社団法人 セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン



1. 事業概要

事業名	ホーチミン市カンザオ区における防災・気候変動対応能力強化事業
対象国・地域	ベトナム ホーチミン市 カンザオ区
事業期間	2015年5月1日～2016年4月30日
報告期間	2015年5月1日～2015年7月31日
予算	7,500,000円
受益者	5歳～14歳の子ども3,340名 ¹ 及び5,000名の地域住民
事業目的	最貧困層の少数民族の災害対応、気候変動適応能力を向上させる。

2. 事業進捗概要

本事業期間においては、行政機関との事業承認の取り付け、対象校の選定・活動計画の詳細の確認、および活動で使用する教材の調達を進めました。8月末まで小中学校は夏休み期間ですが、新学期が開始する9月から、事業対象校および地域において計画している活動が開始できるよう、行政との連絡調整を密に行っています。

- ✓ カンザオ区の教育訓練局、カンザオ区人民委員会から6月25日に事業の承認が下りました。現在は、現地で活動するための最終承認として必要なホーチン市人民委員会からの承認の取り付けを進めています。
- ✓ 6月25日の事業対象区からの正式な承認をうけ、7月3日に第1回目の事業立ち上げ会議を行い、カンザオ区人民委員会、同区教育訓練局、区の防災の管轄である人民委員会の経済局の行政官ら10名が出席し、事業の目的や計画の確認、昨年の事業からの学びの共有を行いました。今後も、活動の進捗の確認や情報共有のため、関係行政と定期的に会議を行う予定です。
- ✓ 教育訓練局との協議後、対象候補校および周辺地域の訪問、貧困世帯への聞き取りを行い、対象校を5校（中学校2校、小学校3校）選定しました。選定の基準は、カンザオ区の中でも、1）河および水路が隣接しているため、災害・気候変動の影響を受けやすく、人口密度の高い地域にある学校、2）他の小中学校に比べ、通学している子どもの数が多い学校、3）最貧困層が多い少数民族の人口が最も多い地域の学校とし、同基準に合う下記の小中学校を選定しました。
- ✓ 教師・生徒向けの防災研修で使用する教材（第2期で使用した3冊）に加えて、水難を防ぐための子ども向けの啓発ポスターなどの作成を進めており、8月中に完成を予定しています。

<選定校一覧>

コミュニティ名	学校名	生徒数
Binh Khanh	Binh Khanh Secondary School	1,203人
Long Hoa	Long Hoa Secondary School	655人
Binh Khanh	Binh Phuoc Primary school	416人
An Thoi Dong	An Thoi Dong Primary school	754人
Long Hoa	Long Thanh Primary school	312人
合計		3,340人

¹ 事業提案書では2300名となっていましたが、事業開始後の政府との話し合い及びアセスメントにより対象とする子ども数が3,340名になりました。

3. 活動写真



カンザオ区に入るためには、橋がないため、隣接するニャーベー区から船に乗る必要がある。



カンザオ区へ向かう船の内部の様子。車両、バイク、人でごった返している。



水量が多く、流れの早い河の様子。雨期にはさらに水量、水位が上がる。



川沿いぎりぎりに家が立ち並んでいる。



Binh Phuoc 小学校の周辺の様子。水辺が周辺に多い。



Binh Phuoc 小学校周辺の様子。舗装道路と脇の水路の境目の段差が茂みに覆われているため、非常に分かりづらく、危険である。



Binh Phuoc 小学校の分校の校舎。度重なる浸水で傷みが激しい。



Binh Phuoc 小学校の分校の校舎。トイレ、手洗い場の水道管が度重なる浸水で壊れ、そのままになっている。校舎内にある溝がトイレとして代わりに使用されており、不衛生である。



第1回事業立ち上げ会議の様子。



少数民族の家族。子どもたちは Binh Phuoc 小学校に通う。父親は不定期に入る日雇いの仕事と周辺の水辺でとれるへびを売ることとで生計を立てている。母親は心臓を患い、仕事に出ることができていないため家計は大変厳しい。



対象地域 Binh Khanh コミューンの通学路の様子。雨期になると舗装道路の高さまで水位があがる。



対象地域 Binh Khanh コミューンの通学路の様子。エビなどの養殖をするため、ため池が点在する。